

2018 A 日程 LS [0827]

受験番号

2018 年度 甲南大学法科大学院入学試験問題

## 専門論文試験

### 商 法

(60分)

#### 受験についての注意

1. 試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはならない。
2. 問題は1ページのみである。印刷不鮮明、汚損等があれば申し出ること。
3. 解答用紙は1枚である。解答用紙には裏面もあるので注意すること。
4. 答案は、横書きとする。
5. 答案は、実線内の番号に従って書き進めること。
6. 答案は、黒ボールペン（但し、フリクション等の消せるボールペンは不可）または黒インクの万年筆で記入すること。これら以外で記入された答案は、無効となる。
7. 答案を訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、1行の場合には横線で消して、その次に書き直すこと。
8. 下書きには、問題冊子の余白を適宜利用すること。
9. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

## 専門論文試験 商法

### 【問題】

以下の【事例】を読んで、〔設問〕に答えなさい。

### 【事例】

P株式会社(以下「P社」という。)は、普通株式のみを発行する公開会社で監査役設置会社である。P社の創業者であり、創業以来長年にわたりP社の代表取締役を務めてきたAは、2年前にP社代表取締役の地位をBに譲り取締役からも退き、現在はP社の相談役に就任している。Aは完全に引退して悠々自適の生活を送ろうと考え、保有するP社株式を一括して売却することとして、2017年2月頃にその旨をBに伝えて相談した。うるさ型のAが引退することについてBに異論はなく、むしろAの考えが変わらないうちに少々の高値でもAの保有するP社株式をP社の資金で引き取りたいと考えたので、「よい条件で引き取りたいので、方法を考えさせてください。」と告げた。

2017年8月1日、P社の株主総会やP社の取締役会の承認を得ることなく、Bは独断でP社の資金を使い、1株当たり時価1000円相当のP社株式10万株を、1株当たり1500円でAから取得することとし、Aには「P社の臨時株主総会で承認を得たので大丈夫です。」と告げ、AはBの言葉を信じた。その日のうちにP社は代金1億5000万円をAに支払い、AからP社株式10万株を取得した(以下「本件自己株式取得」という)。なお、本件自己株式取得において財源規制違反はなかったものとする。

### 〔設問〕

本件自己株式取得の効力はどのように解することができるか。また、本件自己株式取得に関してBはP社に対していかなる責任を負うこととなるか。